

こどもの日記念シンポジウム2025

児童虐待防止のための親の支援

～理想の親、現実の私～

予約不要
入場無料

4月27日(日)

13:00 開場 (閉場 17:00)

会場 / 広島市青少年センター

広島市中区基町5番61号

tel.082-228-0447

★第1部★

13:30～(開場13:00)

演劇

『はばたけピピオ! パート14
～ねんねこのうた～』

出演: 舟入・沼田・基町・市立広島商業
高校演劇部と弁護士ら

脚本: 川崎浩介(広島弁護士会)

★第2部★

15:30～

講演会

『児童虐待予防と
親支援の展望』

講演者: 井口絵海さん
(NPO法人mamanohibi代表)
金山さよさん
(子どもアドボカシー学会認定
子どもアドボケイトトレーナー)



託児あります

託児をご利用の際は、
4月17日(木)までに
広島弁護士会へご連絡の
上、ご予約
ください。



主催/広島弁護士会 広島市中区上八丁堀2番73号 tel.082-228-0230

共催/日本弁護士連合会 中国地方弁護士会連合会

後援/広島県 広島市 広島県教育委員会 広島市教育委員会 公益財団法人マツダ財団 NPO法人ピピオ子どもセンター

児童虐待防止のための親の支援

児童虐待に関する相談件数は依然として増加傾向にあり、子どもの生命が奪われるなどの重大事件も後を絶たないのが現状です。虐待は決して一部の「特別な家庭」でのみ起こる問題ではありません。どの家庭でも、どの親でも起こり得る課題であり、その発生要因は、保護者の身体的、精神的状況、子どもの身体的、精神的状況、養育環境等の社会的背景などが複雑に絡み合っています。

他方、2022年、児童福祉法が改正され、児童福祉と母子保健の総合支援機関として子ども家庭センターを設置することが市区町村の努力義務とされ、虐待防止における親の支援の重要性が高まっています。

そこで、本シンポジウムでは、高校生との演劇や、講演会を通して、児童虐待防止のための親の支援という観点から虐待について皆さんと一緒に考えていきます。

第1部

舟入・沼田・基町・市立広島商業高校演劇部と弁護士らによる演劇

『はばたけピピオ！パート14』

～ねんねこのうた～

脚本：川崎浩介（広島弁護士会）

開演

13時30分～（開場 13時）

劇の紹介

高校生と弁護士らで結成した「劇団ピピオ」がお送りする、こどもの日記念イベント恒例のオリジナル創作劇です。今年も笑いあり、涙ありの作品となっております。どうぞお楽しみください。



はばたけピピオ！パート13より

あらすじ

弁護士菰田は、母からの虐待に耐え兼ねて家を出た高校3年生の春子を支援することとなる。一方、数年前に菰田が支援した彩芽は、1児の母となっていた。

第2部

講演会

『児童虐待予防と親支援の展望』

開演

15時30分～

講演者

井口絵海さん

（福山市出身。NPO法人mamanohibi代表。福山市を拠点として子育て支援活動を行う。また、ラジオDJとして、広島エフエムで、「Panasonic Homes presents ママヒビラジオ」のDJを務める。）

金山さよさん

（子どもアドボカシー学会認定子どもアドボケイトトレーナー。幼少期に児童養護施設等での生活を経験。現在は、児童養護施設等でのアドボケイトとしても活動。）

内容

虐待が生まれる背景には何があるのか。親が虐待してしまう理由や、周囲の大人が虐待をどう理解し、どのように向き合うのかについて、実際に子育て支援を行っている井口さんと、児童養護施設での生活経験をもつ金山さんの意見交換を通じて、みんなで考えていきましょう。

